# 経営比較分析表（平成28年度決算）

神奈川県　綾瀬市

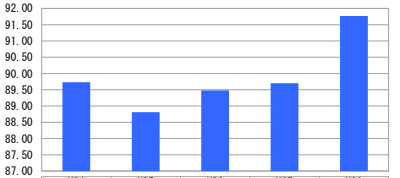
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|---|---|---|---|---|
| 法非適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Bc2 | 非設置 |
| **資金不足比率(%)** | **自己資本構成比率(%)** | **普及率(%)** | **有収率(%)** | **1か月20m³当たり家庭料金(円)** |
| - | 該当数値なし | 94.27 | 82.84 | 2,060 |

| 人口（人） | 面積(km²) | 人口密度(人/km²) |
|---|---|---|
| 85,180 | 22.14 | 3,847.34 |
| **処理区域内人口(人)** | **処理区域面積(km²)** | **処理区域内人口密度(人/km²)** |
| 80,243 | 10.83 | 7,409.33 |

**グラフ凡例**
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性

### ①収益的収支比率(%)



| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 89.73 | 88.81 | 89.48 | 89.70 | 91.77 |
| 平均値 | | | | | |

「単年度の収支」

### ②累積欠損金比率(%)

| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | | | | | |
| 平均値 | | | | | |

「累積欠損」

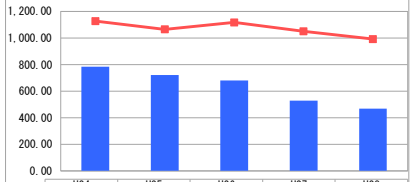
### ③流動比率(%)

| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | | | | | |
| 平均値 | | | | | |

「支払能力」

### ④企業債残高対事業規模比率(%)

【728.30】

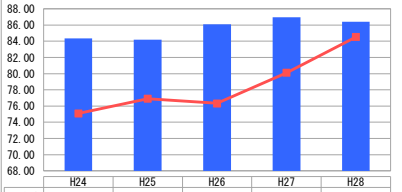


| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 783.96 | 722.26 | 680.38 | 528.30 | 468.95 |
| 平均値 | 1,127.77 | 1,066.16 | 1,117.27 | 1,051.49 | 991.69 |

「債務残高」

### ⑤経費回収率(%)

【100.04】

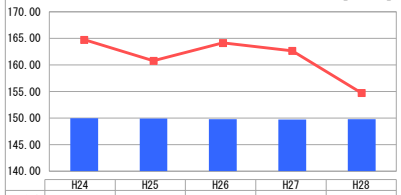


| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 84.33 | 84.17 | 86.09 | 86.94 | 86.40 |
| 平均値 | 75.08 | 76.91 | 76.33 | 80.11 | 84.53 |

「料金水準の適切性」

### ⑥汚水処理原価(円)

【137.82】



| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 149.94 | 149.92 | 149.77 | 149.71 | 149.76 |
| 平均値 | 164.73 | 160.77 | 164.13 | 162.66 | 154.70 |

「費用の効率性」

### ⑦施設利用率(%)

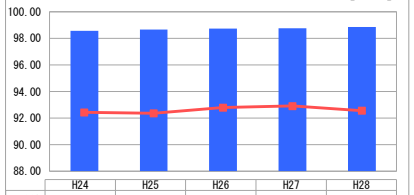
【60.09】

| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 63.50 | 65.06 | 66.70 | 86.76 | 85.33 |
| 平均値 | 58.78 | 56.94 | 58.28 | 56.67 | 58.04 |

「施設の効率性」

### ⑧水洗化率(%)

【94.90】



| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 98.56 | 98.67 | 98.74 | 98.76 | 98.86 |
| 平均値 | 92.42 | 92.35 | 92.78 | 92.90 | 92.56 |

「使用料対象の捕捉」

## 2. 老朽化の状況

### ①有形固定資産減価償却率(%)

| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | | | | | |
| 平均値 | | | | | |

「施設全体の減価償却の状況」

### ②管渠老朽化率(%)

| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | | | | | |
| 平均値 | | | | | |

「管渠の経年化の状況」

### ③管渠改善率(%)

【0.27】

| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.04 |
| 平均値 | 0.04 | 0.06 | 0.05 | 0.04 | 0.05 |

「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

※　法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※　平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本市の現状の経営状況は、④企業債残高対事業規模比率、⑥汚水処理原価、⑦施設利用率、⑧水洗化率の数値については類似団体平均値と比べて良好な状態です。

一方で①収益的収支比率、⑤経費回収率については100%を下回っており費用を収益でまかなえていない状態です。加えて、総収益の一部は一般会計からの基準外繰入金に依存している状態です。

今後本市は人口減少に転じることが予測されるので、収入の自然増は見込み辛く経営環境は徐々に厳しさを増すものと予想されます。下水道料金は平成14年を最後に改定していないため、現状最適な水準であるかどうか検討する必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

昭和６２年の処理開始から３０年程度経過しており、今後改築及び更新にかかる支出は徐々に増加する見込です。

老朽化した下水道施設の改築及び更新事業について、現在は長寿命化計画を基に施設の改築及び更新事業を行うことで、将来負担の軽減を図っております。

加えて、老朽化対策の更なる最適化・精緻化を目的として、平成３１年度中にストックマネジメント計画を策定します。

### 全体総括

現状で費用の全額を収益で賄えていない状況の中、今後経営環境は厳しさを増すことが予想されております。

平成３０年度に経営戦略の策定を実施いたします。経費の削減努力や計画的な投資計画により支出額を抑制するとともに、必要な場合は使用料改定を実施し収益を確保することで、経営成績及び財政状態を改善していく必要があります。